

立川法人会NEWS

第656号

主な内容

- ◇ 中小企業の
身近な国際税務③ …… 2～5
- ◇ 企業訪問
税理士法人大石会計事務所 …… 6
- ◇ 随筆 「ねこ展史」 …… 7
- ◇ セミナー・
研修会スケジュール …… 8～9
- ◇ 立川都税事務所からのご案内 …… 10
- ◇ 連載「人事・労務の
お助けセミナー」③ …… 11
- ◇ 今どきの話題 要注意！ネット
依存が職場をおびやかす …… 12
- ◇ 立川都税事務所からのご案内 …… 13
- ◇ チェック！
今月のインフォメーション …… 14
- ◇ なんでも倶楽部 …… 15
- ◇ 健康・運動ワンポイント講座 …… 15
- ◇ 法人会イベント・トピックス …… 16



梅雨に映える大学通りの紫陽花



企 業 訪 問

中小企業を元気にしたい！ みんな目指す模範の事務所

税理士法人 大石会計事務所



—プロフィール—

代表者 大石 豊 司
 所在地 国立市東1-4-20
 イーストワン国立2F
 電 話 042 (574) 3900
 スタッフ 25名
 URL <http://www.oishi-kaikai.com>
 業 種 創業支援、経営相談、経営
 計画策定支援、経理代行、
 法人税・所得税・相続税・
 贈与税の申告・相談・対策
 著 書 「経営以前の社長の教科書」
 (現代書林)

「1989年設立と言いますと、昭和から平成への節目の時。独立への思いをお聞かせ願います。」
 大石 ヒト、モノ、カネ、情報、どれをとっても十分ではない中小企業に、会計事務所は側面からではありますが本当にお役にたてる業種だと思っていました。独立当初から税金よりむしろ経営の話ができる税理士を目指していました。

「この記事の件で事務所をお伺いした時の一連の流れは圧巻でした。」
 大石 「我々も中小企業経営の模範となるような事務所であればならない」という共通認識が所員にあるんです。

合い言葉は「事務所をショールーム化しよう」。見せかけではなく、所員の意識から電話のとり方、お客様のお迎えまで、中小企業の模範となろうとしているんです。

それが普通と違う会計事務所と思われるところではないかと思っます。

「中小企業を元気にしたい！そんな情熱が業務案内や皆さんの言動にあふれていますね。」

大石 経営者に大切なことは大きく2つあると思っています。

1つは「情熱」ですよね。どんなに知識があり、スキルがあろうが情熱がなければ経営は続けられないし、



社員の自主的なごみ拾い

これも誰かのために、地域のためにという動機付けだけで始まったことで、それがすごく嬉しいですね。



朝礼の様子

インタビュー
 広報活動副実行委員長
 国立東部支部長
 共和写真(株)代表取締役
 桐山士郎

人はついてこない。これまでの仕事でお会いした経営者の中で、情熱がなくてうまくいった人は一人もみたことないですから。

もう1つは「ビジョン」。5年後、10年後どうありたいのか。そしてそのイメージをうまく周囲に伝えられるかどうかです。自分がイメージできないものは実現するわけがないですから、それがすごく大切だと思いますね。それに向かって、今年をどうする、1歩目をどう踏み出すかを考えることです。

「私も通勤の折お見かけたことがあります。朝、社員の皆さんが街のお掃除をされていますね。」

大石 これがまったく自発的なんです。私が全く知らないところで勝手に始めて6年目になりますからね。毎週1回水曜日に駅前、大学通り等ごみ拾いをやっています。

「論語教室やマラソン、駅伝に参加等いろいろ積極的にされていますね。最後に所長さんからのメッセージを戴きたいと思います。」

大石 「会社が楽しくてヒトとしても成長していける場だと思えるような職場作り、それは経営者の務めのひとつではないでしょうか。」

私のビジョンを申せば、年々スタッフを整え、中小企業の人たちに会社の在り方を伝えていきたいのです。会計事務所だっていれば中小企業ですから。

事務所を訪ねて下さった社長さんに「社員を連れてきていいですか」と言われる、そんな事務所を目指したいですね。